

資料 4-1

尻別川水系 河川整備計画（原案）について （目標と整備の内容）

尻別川流域委員会（第2回 平成21年6月2日）

1.河川整備計画の目標に関する事項

1-1 流域及び河川の概要

1-2 河川整備の現状と課題

1-2-1 治水の現状と課題

1-2-2 河川の適正な利用及び河川環境の現状と課題

→ 1-3 河川整備計画の目標

1-3-1 河川整備の基本理念

1-3-2 河川整備計画の対象区間

1-3-3 河川整備計画の対象期間等

1-3-4 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

1-3-5 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

1-3-6 河川環境の整備と保全に関する目標

2.河川整備の実施に関する事項

2-1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに

当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

2-1-1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

2-1-2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

2-1-3 河川環境の整備と保全に関する事項

2-2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

2-2-1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

2-2-2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持並びに河川 環境の整備と保全に関する事項

尻別川の特徴		河川整備の基本理念
・明治初頭に開拓が始まって以来、治水整備や農業開発等の進捗に伴い、現在では北海道有数の農業地帯として発展してきた。 ・流域内には、JR函館本線、国道5号、229号、230号、276号、393号等があり、札幌、小樽と道南地域を結ぶ物流輸送や旅客輸送に大きな役割を果たしている。 ・アユ、イトウが共に生息する貴重な河川である。 アユ及びカワヤツメ漁や、サケ・サクラマス的人工ふ化・放流が行われている。 ・羊蹄山及び流域西側に面して支笏洞爺国立公園、北西部にニセコ積丹小樽海岸国立公園の一部が位置し、雄大な自然に囲まれている。 ・雄大な自然景観、アウトドアスポーツ、温泉などを求め、夏季・冬季に多くの観光客が訪れる。近年はアジア・オセアニアからの観光客も訪れている。 ・国土交通省が毎年公表している一級河川の平均水質ランキング（BOD値）において、平成11～19年のうち平成15年を除く8回清流日本一となっている。 ・河川空間は、憩いの場やレクリエーションの場、環境学習の場等として地域住民に広く利用されている。 ・河川環境の保全及び河川の健全利用について、尻別川流域7町村では、「河川環境の保全に関する条例（通称「尻別川統一条例」）を制定している。	治水	流域及び水系一貫の視点を持ち、河川の特性と地域の風土・文化等の実情を踏まえ、多様化したニーズに対して地域住民や関係機関等と協働して合意形成を進めつつ、次のような方針に基づき、総合的、効果的、効率的に推進する。 ■洪水等による災害の発生防止又は軽減について ・尻別川下流部は、低平地が広がっていることから、洪水はん濫の危険性を極力減少させるため、河道断面が不足している箇所については、河道の安定、河川環境に配慮しつつ、河積の増大を図り洪水を安全に流下させる。また、浸透や侵食に対する堤防の安全性を点検し、必要な対策を行う。 ・また、本支川及び上下流のバランスを考慮するとともに、整備途上段階においても順次安全度が高まるよう、水系として一貫した整備を行う。 ・尻別川は、過去に北海道南西沖地震による被害を受けていることから、地震や津波に対する被害の防止・軽減を図る。
	利水	■河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持について ・河川の適正な利用及び流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保に努め、今後とも関係機関等と連携し、合理的な流水の利用を促進する。
	環境	■河川環境の整備と保全について ・流域全体の視点に立って、健全な水・物質循環系の構築を目指し、尻別川流域が有する羊蹄山を背景とした雄大で美しい自然環境を良好な状態で次世代に引き継ぐようその保全に努める。 ・尻別川は、特にイトウとアユが共に生息する貴重な河川であり、河川環境は自然の状況においても遷移し、攪乱により変化するものであるという認識のもとに、尻別川の有する河川環境の多様性や連続性を保全し、動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・形成に努める。 ・また、稲作・畑作を主体とした農業やアユ、カワヤツメ及びモクズガニの漁業等、地域の産業の持続的な発展と自然環境の保全の両立を目指し、河川環境の整備と保全が適切に行われるよう、流域の自然的・社会的状況を踏まえ、地域と連携しながら、地域の個性が実感できる川づくりを推進する。
	維持管理	■河川の維持について ・洪水等による災害の発生防止又は軽減、河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持、河川環境の整備と保全が図られるよう、総合的な視点に立った維持管理を行う。また、地域住民、関係機関と連携・協働した維持管理の体制を構築する。 ・河道や河川管理施設をはじめ、流水や河川環境等について定期的にモニタリングを行い、その状態の変化に応じた順応的管理(アダプティブ・マネジメント)に努める。

◆ 対象区間

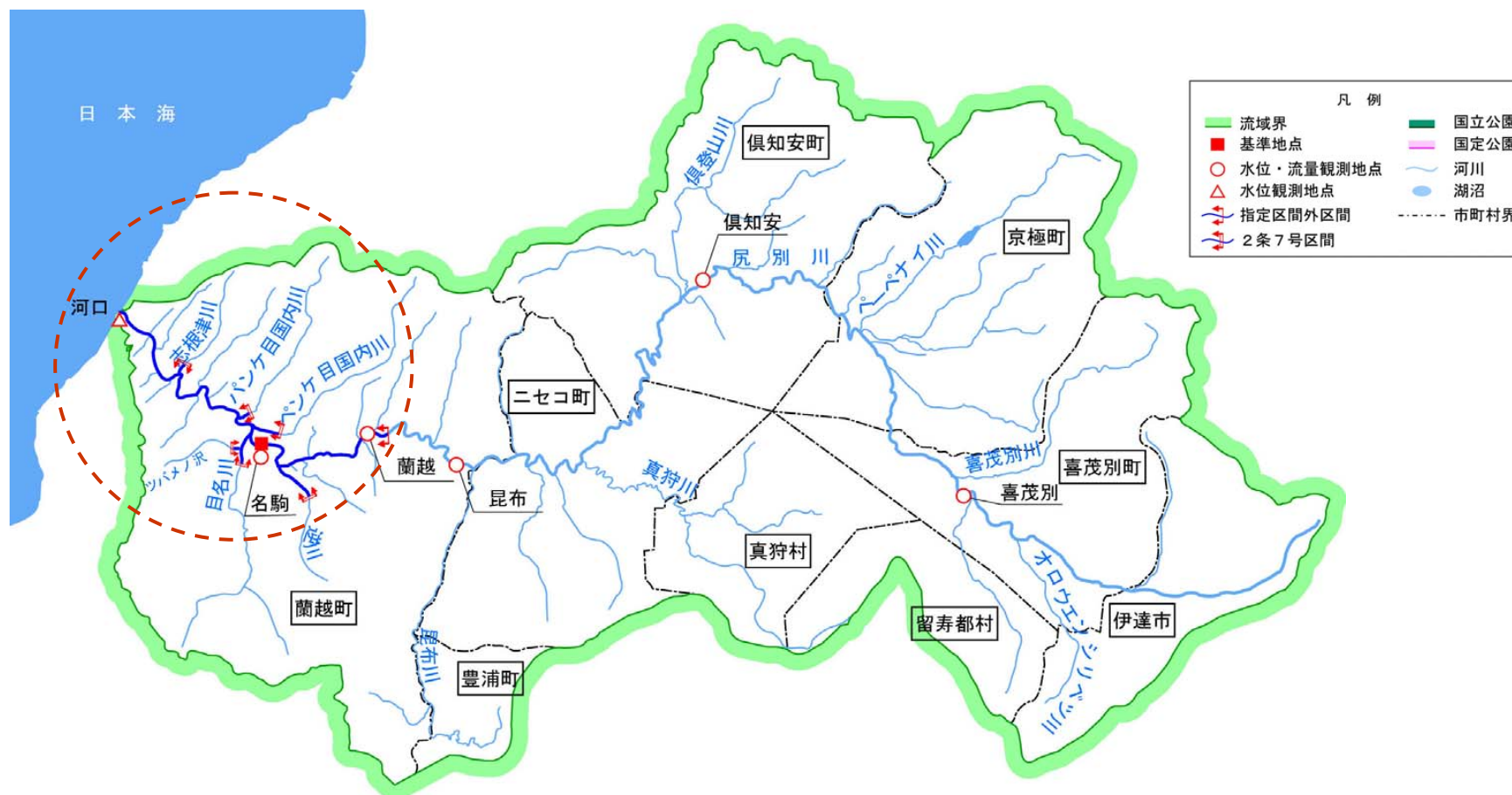
尻別川の指定区間外区間（大臣管理区間）

2条7号区間※（志根津川、パンケ目国内川、パンケ目国内川、目名川、逆川、ツバメノ沢川）

◆ 対象期間：概ね20年間

※2条7号区間

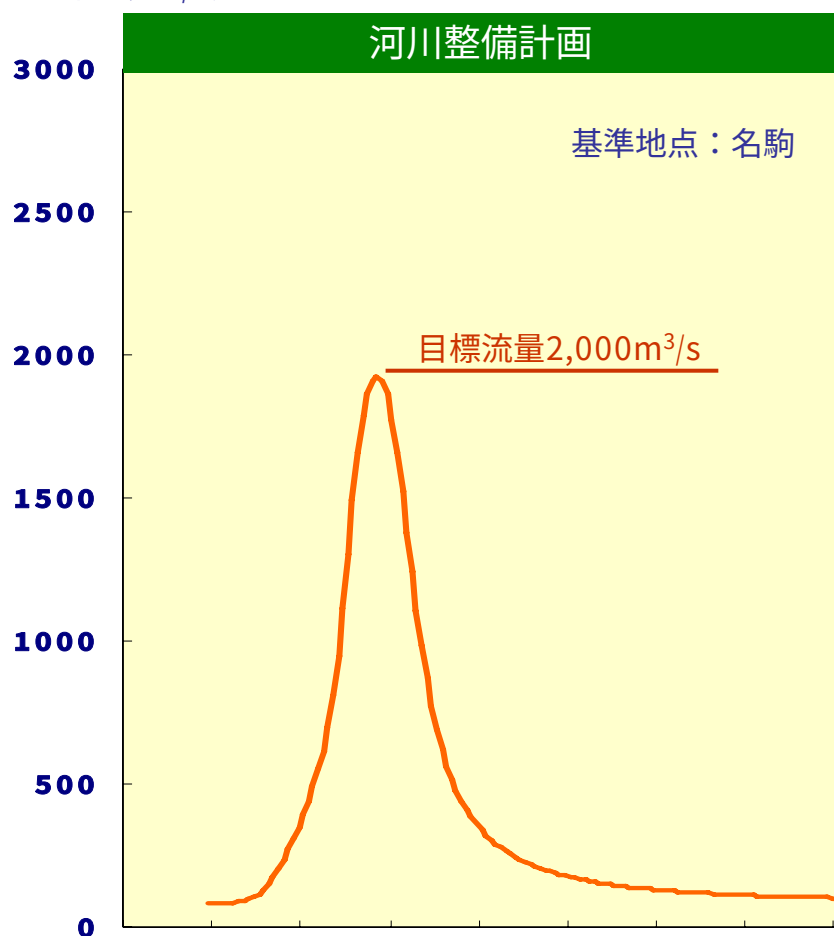
河川法施行令第2条第7号の規定に基づく工事区間



指定区間外区間（大臣管理区間）と2条7号区間

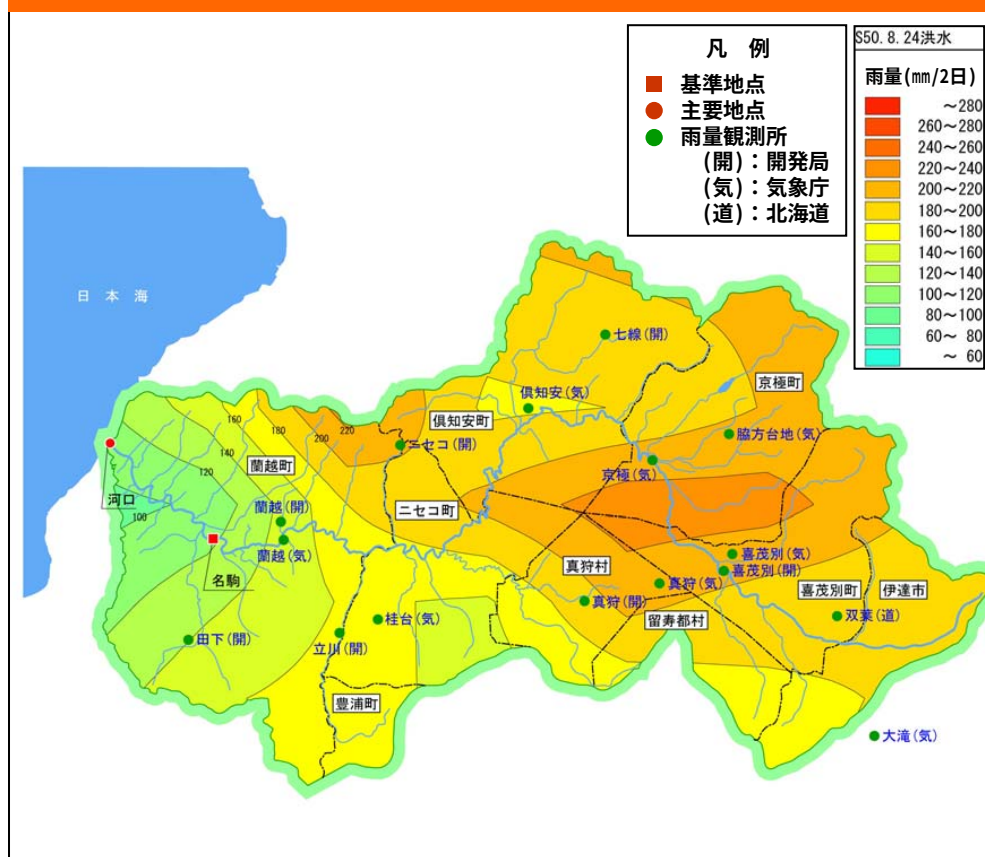
- ◆ 河川整備基本方針で定めた目標に向けて段階的に整備を進めることとし、本支川及び上下流のバランスを考慮した上で、尻別川流域において甚大な被害をもたらした戦後最大規模の洪水である昭和50年8月下旬降雨により発生した洪水流量(以下「目標流量」と言う)を安全に流すことを目標とする。

流量↑ (m³/s)



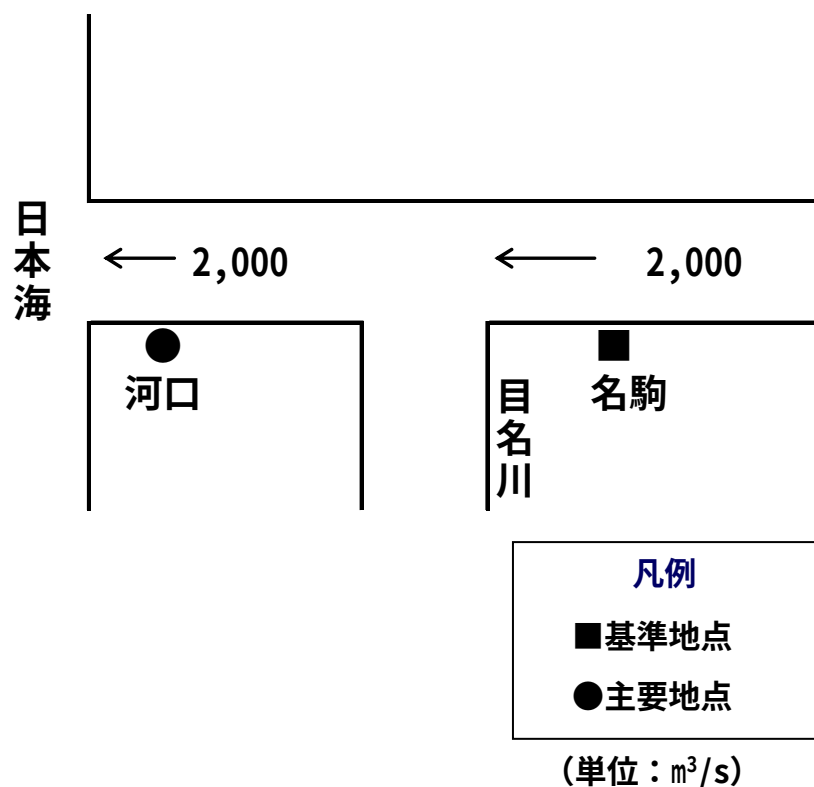
時間→

昭和50年8月下旬降雨（尻別川本川の最大洪水）



- ◆ 治水・利水・環境の観点、社会的影響及び経済性等を総合的に検討した結果、河道改修により対処することとする。
- ◆ 尻別川の名駒地点における目標流量は $2,000\text{m}^3/\text{s}$ とし、その全量を河道への配分流量とする。

主要な地点における河道への配分流量



目標流量

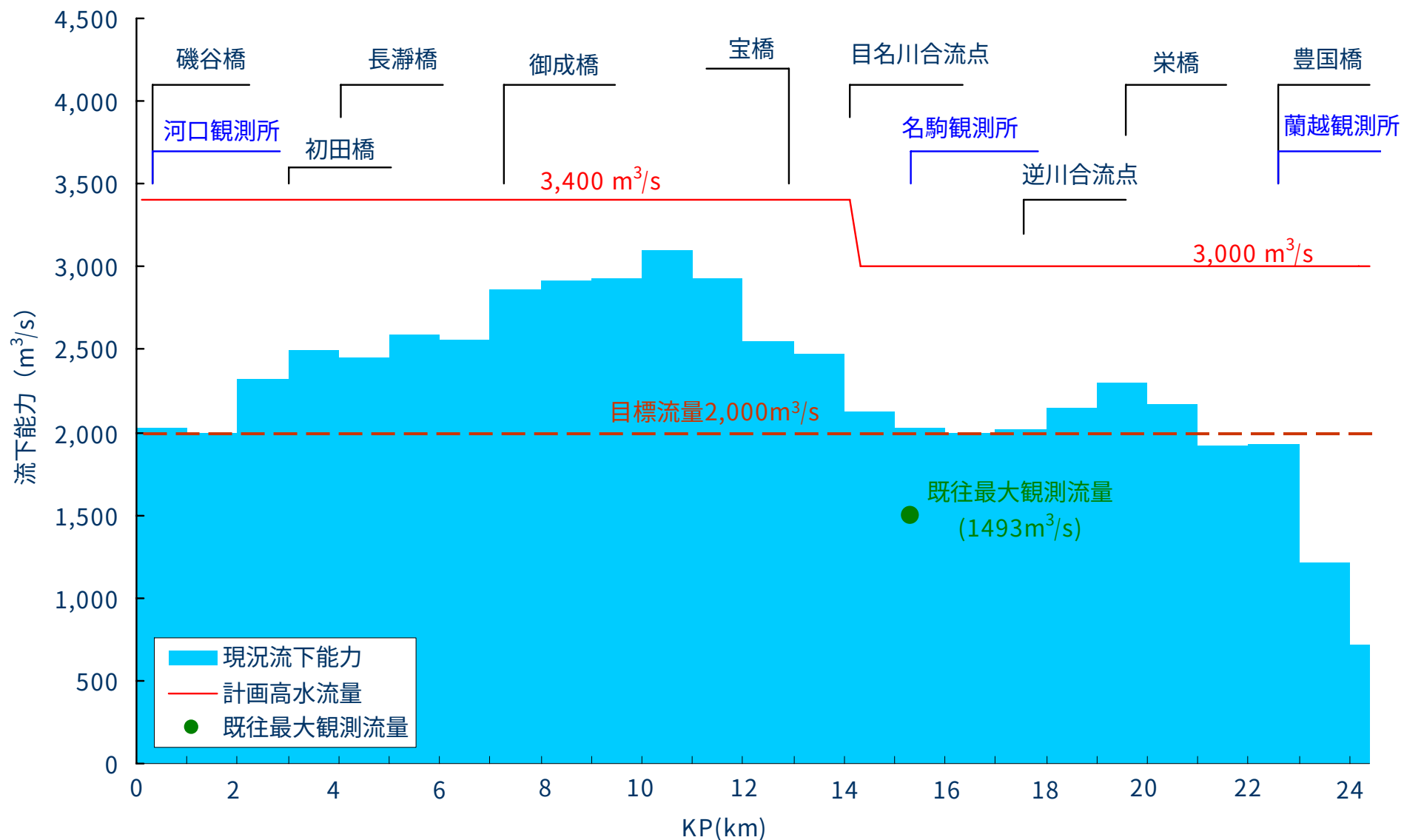
基準地点名	目標流量	河道への配分流量
名駒	$2,000\text{m}^3/\text{s}$	$2,000\text{m}^3/\text{s}$

主要な地点における計画高水位

河川名	地点名	河口からの距離 (km)	計画高水位 T.P. (m)
尻別川	名駒	15.2	9.42
	河口	0.3	1.64

※ T.P.: 東京湾中等潮位

尻別川の現況流下能力図



注) 流下能力は平成19年度末横断をもとに評価している。

-
- ◆ 河道断面が不足している区間については、社会的影響や河川環境、河道の安定等に配慮しながら堤防の整備や河道の掘削により必要な河道断面を確保して洪水被害の軽減を図るとともに、河口部においては、河道が閉塞しないよう留意し、必要に応じて対策を講じる。
 - ◆ 局所的な深掘れや河岸侵食、漏水により、災害発生のおそれがある箇所については、堤防の強化対策や河道の安定化を図る。
 - ◆ 内水被害が想定される地域では、関係機関と連携し内水被害の軽減を図る。
-

-
- ◆計画規模を上回る洪水や整備途上段階に施設能力以上の洪水が発生した場合でも、被害をできるだけ軽減するよう関係機関と連携し、危機管理体制の整備等必要な対策を講じる。
 - ◆現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動による地震・津波に対し、河川構造物の耐震性能確保、情報連絡体制等について調査検討を進め、必要な対策を実施することにより被害の防止・軽減を図る。
 - ◆2条7号区間については、社会情勢や上下流バランス等を勘案し、河道の完成化を図るものとする。
-

- ◆ 流況、利水の現況、動植物の保護、漁業、景観、流水の清潔の保持、塩害の防止等の各項目に必要な流量を考慮し、名駒地点における必要な流量として、概ね $21\text{m}^3/\text{s}$ を確保することを目標とする。
- ◆ 取排水施設における取水及び流況の適正な管理を引き続き行うとともに、合理的な流水の管理に努める。

流水の正常な機能を維持するため必要な流量

主要な地点	必要な流量
名駒	概ね $21\text{ m}^3/\text{s}$

※水利使用の変更に伴い、当該流量は増減するものである。

-
- ◆ 河畔林や水際については、多様な動植物の生息・生育・繁殖の場となっていることから、治水面との整合を図りつつ、保全に努める。
 - ◆ イトウやアユなど魚類等の生息・繁殖環境の保全・形成を図るため、移動の連続性確保及び産卵の場の保全に努める。
 - ◆ 羊蹄山を背景とした豊かな自然に恵まれた尻別川らしい河川景観については、治水面と整合を図りつつ、その保全に努める。
 - ◆ 水質の一般的な指標であるBODは、本支川において近年、環境基準値を概ね満たしており、今後とも関係機関と連携し、その維持に努める。
-

-
- ◆ 河川空間の利用の現状を踏まえ、河川環境の整備と保全が適切に行われるよう、地域住民や自治体との共通認識のもと秩序ある利用に努める。
 - ◆ 河川空間は、人々が川や水辺とふれあい親しめる場として利用されるよう地域住民や関係機関と連携し、その整備に努める。
-

1.河川整備計画の目標に関する事項

1-1 流域及び河川の概要

1-2 河川整備の現状と課題

1-2-1 治水の現状と課題

1-2-2 河川の適正な利用及び河川環境の現状と課題

1-3 河川整備計画の目標

1-3-1 河川整備の基本理念

1-3-2 河川整備計画の対象区間

1-3-3 河川整備計画の対象期間等

1-3-4 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

1-3-5 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

1-3-6 河川環境の整備と保全に関する目標

2.河川整備の実施に関する事項



2-1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに

当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

2-1-1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

2-1-2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

2-1-3 河川環境の整備と保全に関する事項

2-2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

2-2-1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

2-2-2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持並びに河川環境の整備と保全に関する事項

堤防の整備

- ◆ 河道への配分流量を安全に流下させることができるよう、堤防の必要な断面が確保されていない区間については、堤防の拡幅を行い安全性の向上を図る。
- ◆ 長い歴史の中で嵩上げや拡幅を繰り返してきた土木構造物である堤防は、内部構造が複雑かつ不均質であることから、必要に応じて浸透や侵食に対する強化対策を図りつつ堤防整備を推進する。
- ◆ また、樋門等については、堤防整備に合わせて統廃合を検討し、必要に応じて改築等を行う。



堤防の整備、河道の掘削等を実施する区間

堤防の整備

- ◆ 堤防防護に必要な高水敷幅を確保できない区間や河岸侵食・洗掘により堤防の安全性が損なわれるおそれのある区間は、その対策として河岸保護工を実施する。



河道の掘削

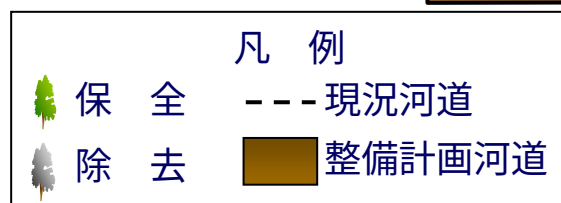
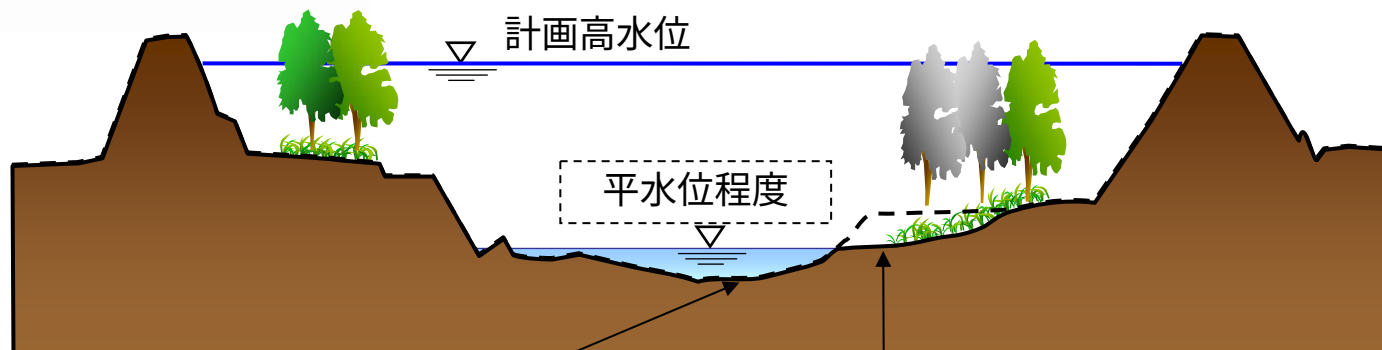
- ◆ 河道断面が不足している区間は、河道への配分流量を安全に流下させることができるよう河道の掘削を行う。なお、河道の掘削にあたっては、河道の安定性に配慮するとともに、魚類や鳥類等の生息・生育・繁殖の場となっている河畔林、変化に富んだ流れを形成する水際、瀬・淵、礫河原等の保全に努める。
- ◆ 河道内樹木の繁茂により、流下断面が不足している区間について、樹木の除去や下枝払い等により河道断面の確保を図る。



河道の掘削(河道断面の確保)に係る施工の場所等

河川名	施工の場所(河道掘削)
尻別川	KP20.8～KP24.2

※ 実施にあたっては、今後の測量結果等により、新たに工事が必要となる場合や内容が変更となる場合がある。



現況河床の保全に努め、魚類や鳥類等の生息・生育・繁殖環境に配慮

単調な断面にならないように掘削断面を設定

河道の掘削のイメージ図

内水被害を軽減するための対策

- ◆ 円滑かつ迅速に内水河川のはん濫等による内水被害を軽減するため、内水被害の実態を踏まえ、関係機関と連携し、排水ポンプ車等による支援を行うとともに、必要に応じてその対策のための作業ヤード、釜場などの整備を行う。



排水ポンプ車による排水（訓練）

広域防災対策

- ◆ 計画規模を上回る洪水や整備途上段階に施設能力以上の洪水が発生した場合でも被害をできるだけ軽減するよう整備を行う。
- ◆ 災害時における水防活動や災害復旧に資するため、水防作業ヤードや土砂、麻袋等の緊急用資機材の備蓄基地、水防団等の活動拠点、物資輸送の基地等の機能を併せ持つ水防拠点を関係機関と連携して整備・活用する。
なお、平常時においても関係機関と連携し、防災教育の場として活用を図る。



大曲資材備蓄基地



名駒資材備蓄基地

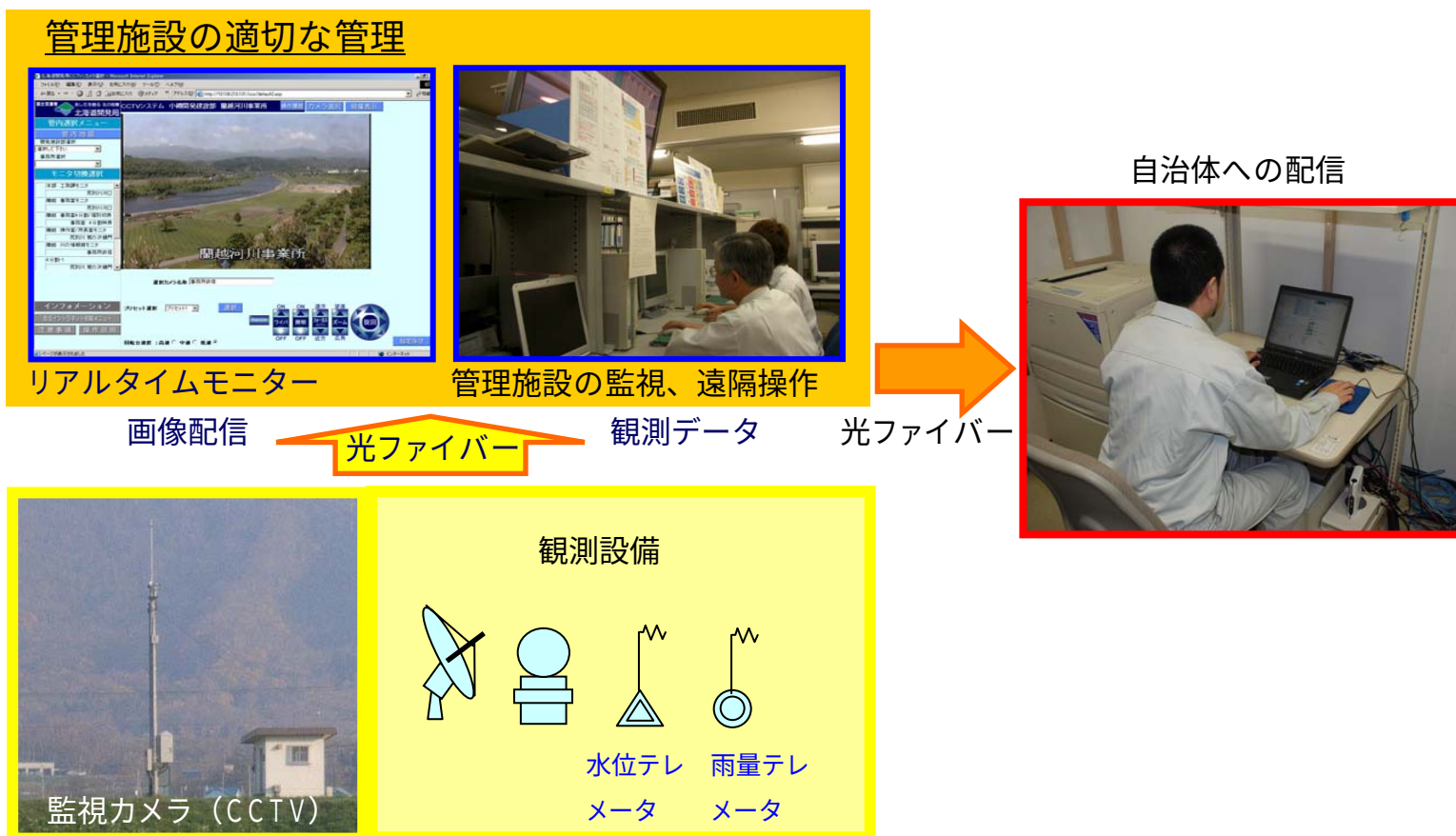


蘭越水防拠点（川の情報館）



広域防災対策

- ◆ 迅速かつ効果的な洪水対応や危機管理対策を行うため、観測設備、監視カメラやテレメータ等を整備し、水位、雨量、画像等の河川情報を収集する。
- ◆ 収集した情報を関係自治体等へ伝達し、水防活動や避難誘導等への支援を図る。
- ◆ 地域住民及び河川利用者への速やかな情報提供を行うため、情報表示板等の情報提供施設の充実を図る。



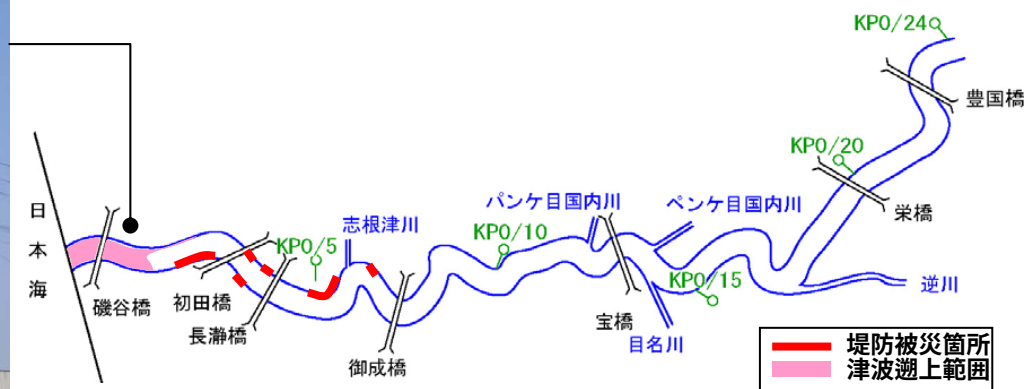
光ファイバー網による河川情報の収集・伝達のイメージ図

地震・津波対策

- ◆ 尻別川流域が属する日本海沿岸は、過去の地震震源地に近く、近年では平成5年7月に発生した北海道南西沖地震により、甚大な被害が発生していることから、関係機関と連携しつつ、地震発生時における被害の防止、軽減に努める。
- ◆ 地震が発生した場合の対策として関係機関と連携し、情報収集・情報伝達ルートを確認する。また、現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動に対する河川管理施設の耐震性について平常時に照査を行い、必要に応じて河川管理施設の耐震対策を図るとともに、地震により被害が発生した場合、迅速に機能の回復を図る。
- ◆ 地震とともに津波が発生した場合、関係自治体や地域住民及び河川利用者へ速やかな情報提供を行うため、情報表示板等の情報提供施設の充実を図る。



情報表示板（平成21年完成予定）



北海道南西沖地震による堤防被害箇所及び津波遡上範囲

- ◆ 流水の正常な機能を維持するために必要な流量として、名駒地点において、概ね $21\text{m}^3/\text{s}$ を確保することを目標とし、各種用水の安定供給、動植物の生息・生育・繁殖環境の保全等に努める。



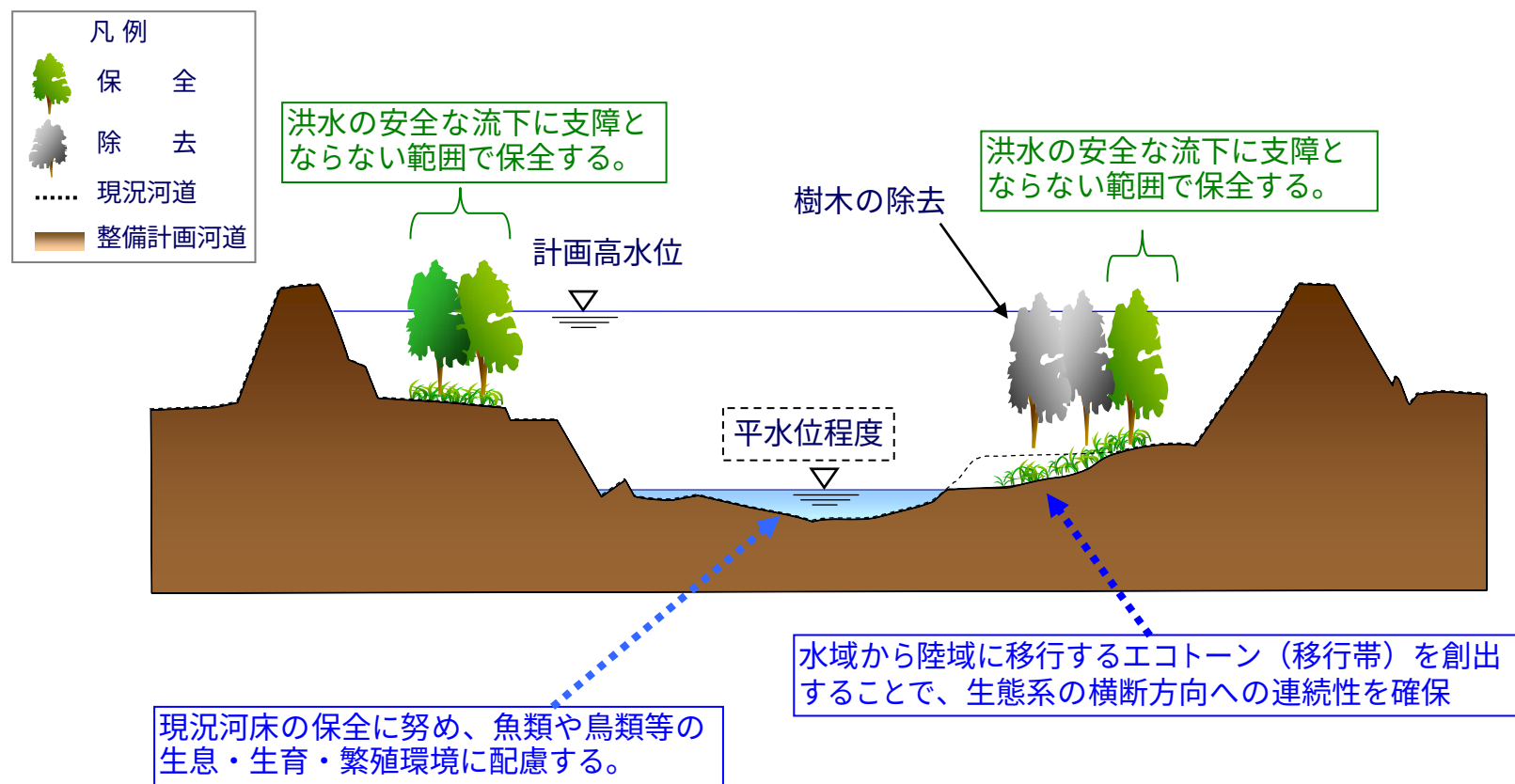
宝橋上流



豊国橋下流

河川環境の整備と保全

- ◆ 河畔林は、流域の特性を踏まえつつ洪水の安全な流下等に支障とならない範囲で保全する。
- ◆ 河道の掘削等にあたっては、魚類や鳥類等の生息・生育・繁殖環境に配慮し、多様性のある水際等の保全と形成に努める。



河畔林の保全、河岸の多様化イメージ図

魚がすみやすい川づくり

- ◆ 尻別川では、国内最大級の淡水魚であるイトウをはじめ、カワヤツメ、アユ、サケ、サクラマス等が生息し、遡上、産卵が確認されている。河道の掘削にあたっては、河床の掘削を極力避けるとともに、水際植生の保全・復元に努め、魚類にとっての生息環境が良好に保たれるよう配慮する。
- ◆ 支川や流入水路等においては、関係機関等と連携・調整し、魚類等の移動の連続性の確保に努める。



アユ



イトウ

河川景観の保全と形成

- ◆ 河川景観については、流域特性や土地利用、地域の歴史・文化等との調和を図りつつ、地域と連携してその保全と形成に努めることを基本とする。
- ◆ 尻別川は、羊蹄山を背景とした河川景観、河岸段丘を利用した農業地帯と調和した水辺、変化に富んだ特徴的な水辺景観を有しており、その保全・形成に努める。
- ◆ 河川景観の構成要素となる樋門等構造物の形態や素材・色彩等のデザインは、不必要に目立たせることを避け、周辺の河川景観に馴染ませるよう努めるとともに、関係機関との連携を図り総合的な河川景観の形成に努める。



ランラン公園(パークゴルフ場)



桜づつみ



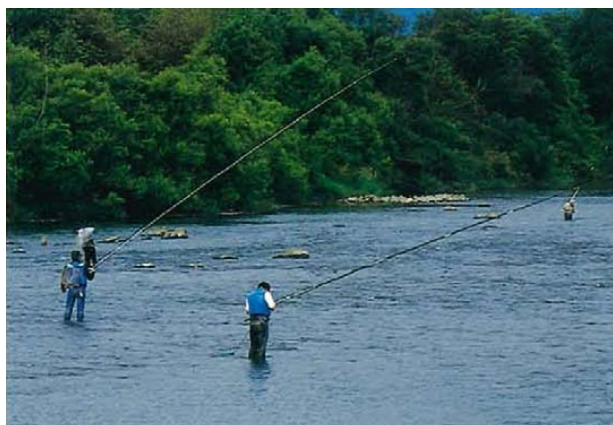
尻別川と羊蹄山

人と川とのふれあいに関する整備

- ◆ 河川空間の整備にあたっては、関係自治体や地域住民のニーズ等を踏まえ、良好な河川環境を保全する。また、生活の基盤や歴史、文化、風土を形成してきた尻別川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、カヌー、高水敷を利用したパークゴルフ等の河川利用や環境学習の場等、多くの人々が川に親しめる空間となるよう、関係機関や地域住民等と一体となって取り組む。



カヌー体験



アユ釣り



尻別川せせらぎまつり



尻別川クリーン作戦



雪中植林



フットパス

1.河川整備計画の目標に関する事項

1-1 流域及び河川の概要

1-2 河川整備の現状と課題

1-2-1 治水の現状と課題

1-2-2 河川の適正な利用及び河川環境の現状と課題

1-3 河川整備計画の目標

1-3-1 河川整備の基本理念

1-3-2 河川整備計画の対象区間

1-3-3 河川整備計画の対象期間等

1-3-4 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

1-3-5 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

1-3-6 河川環境の整備と保全に関する目標

2.河川整備の実施に関する事項

2-1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに

当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

2-1-1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

2-1-2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

2-1-3 河川環境の整備と保全に関する事項

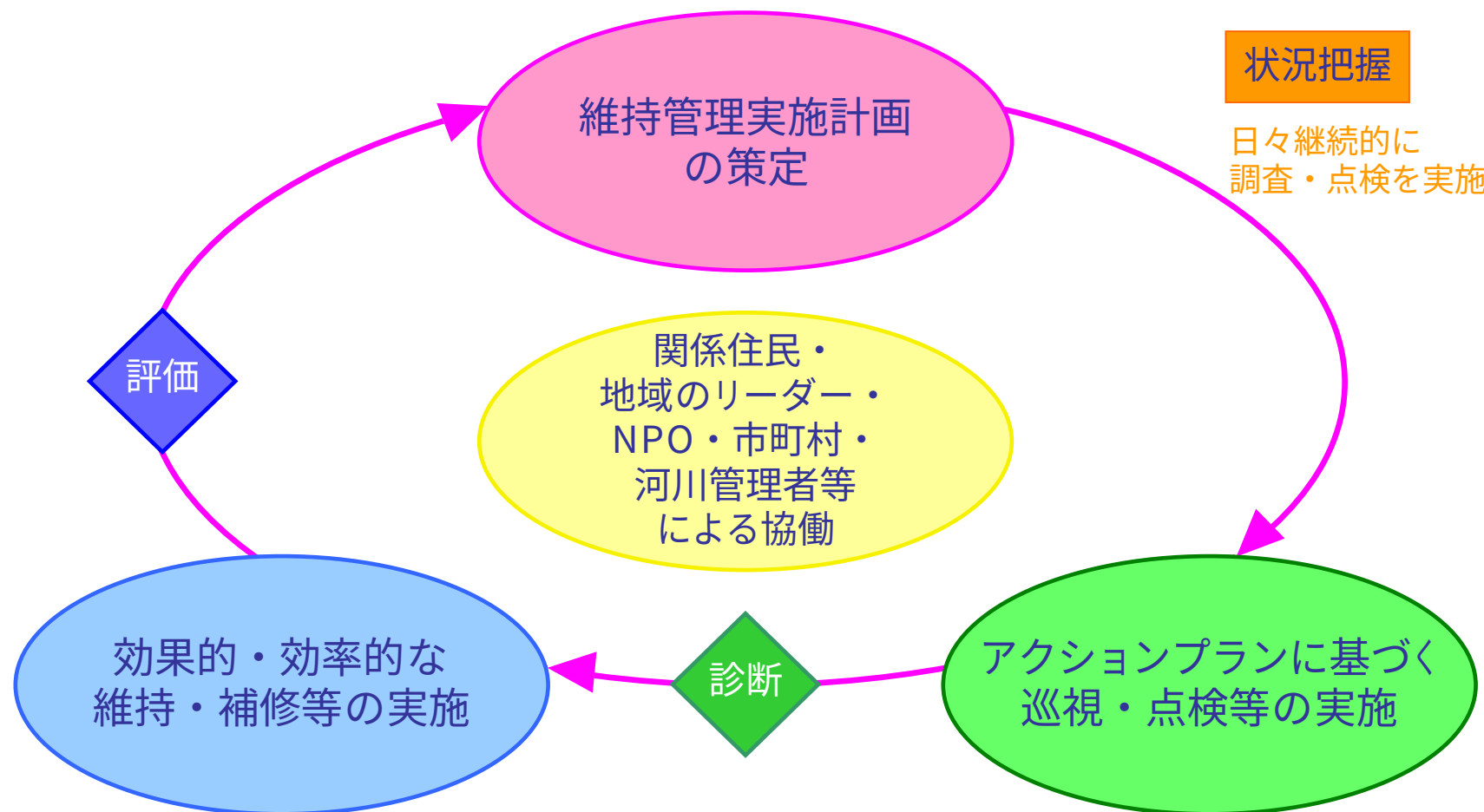
→ 2-2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

2-2-1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

2-2-2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持並びに河川環境の整備と保全に関する事項

河川の維持管理

- ◆ 河川の状態の変化に対応できるよう、5年間程度の維持管理の内容を定める「河川維持管理計画」を策定するとともに、年間の維持管理スケジュールを定める「維持管理実施計画」を策定し、それらに基づき調査・点検を実施し、状況把握・診断を加え維持・補修を行った結果を評価・公表し、次年度の「維持管理実施計画」に反映する「サイクル型維持管理体系」を構築する。



サイクル型維持管理体系のイメージ

河川管理施設の維持管理

- ◆ 堤防や高水敷及び低水路については、現状の河川環境と河川空間の利用、周囲の土地利用等を踏まえながら、洪水による被害が防止され、河川が適正に利用され、流水の正常な機能と河川環境が維持されるよう総合的な視点で維持管理を行う。

河川巡視



不法投棄物の発見及び撤去



漏水の発見及び水防活動



河川巡視のイメージ図

堤防・河道・構造物等の維持管理

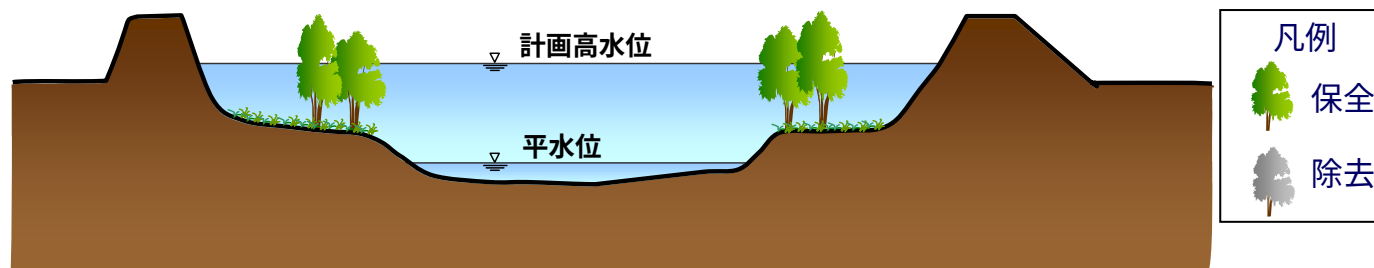
◆ 堤防などの河川管理施設が所要の機能を発揮できるよう適切に維持管理を行なう。



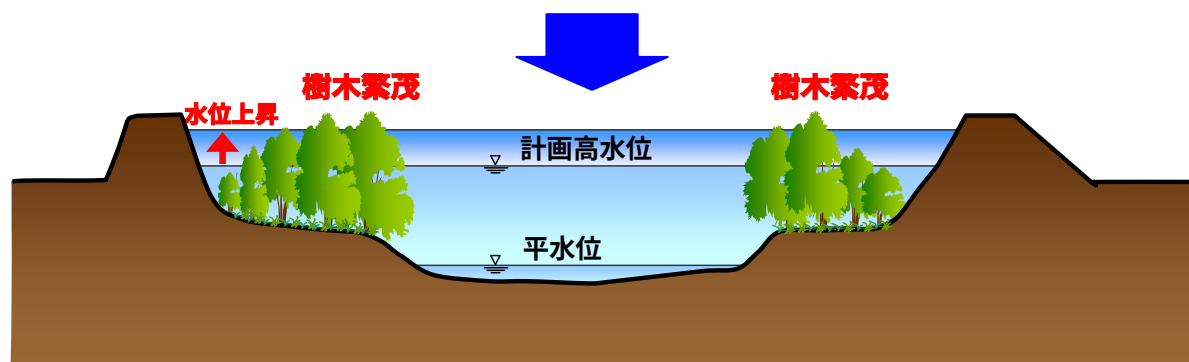
河道内樹木の管理

- ◆ 治水及び環境上の機能や影響を考慮した上で、河道内樹木の繁茂状況を随時把握するとともに、洪水の安全な流下に支障とならないよう河道内樹木を適切に管理する。

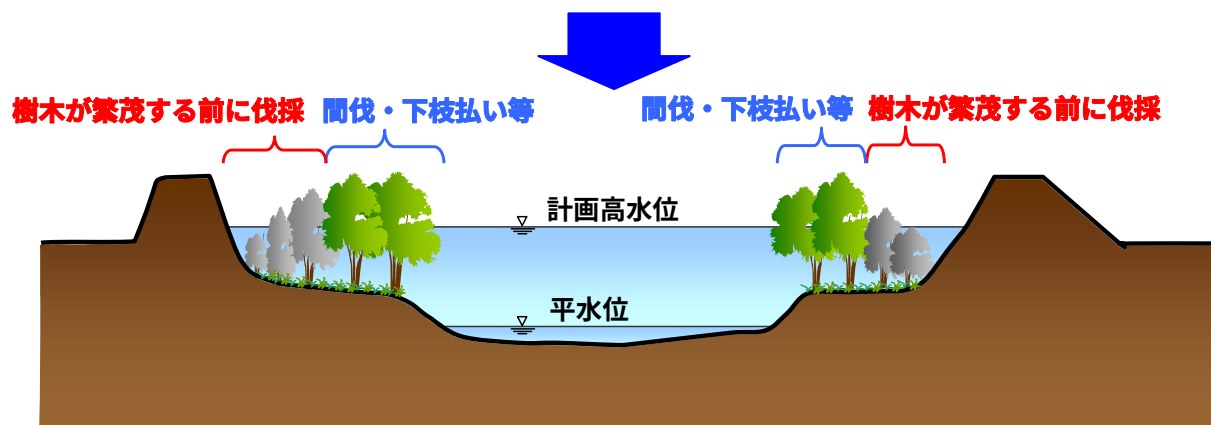
樹木が少ない場合は、計画高水位以下で安全に洪水を流すことができる。



洪水流下の支障となる樹木が繁茂すると、河積が小さくなり水位が上昇する。



樹木が繁茂しないよう適切に樹木の管理を実施する。



河道内樹木の管理イメージ図

危機管理①

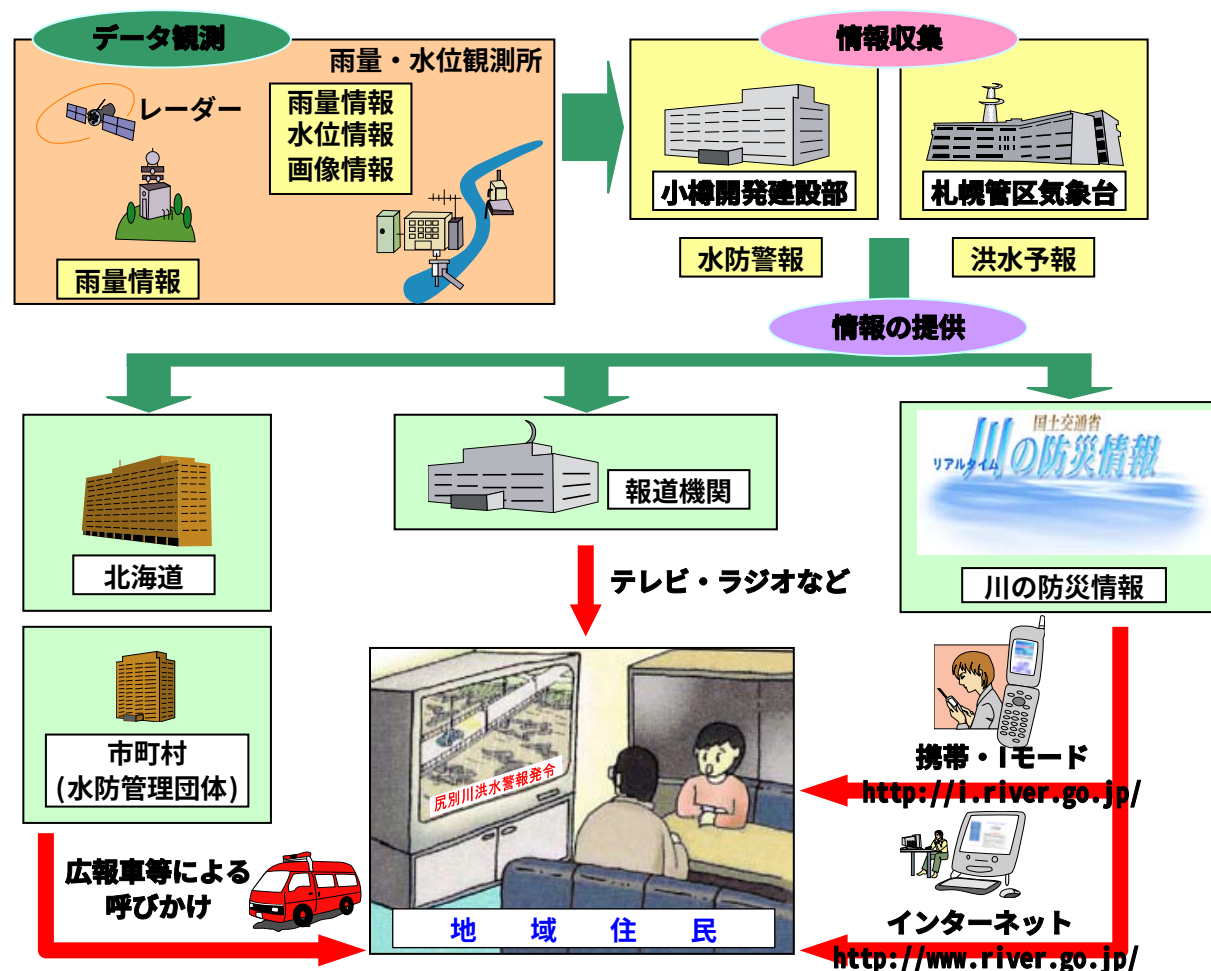
- ◆ 「尻別川水防連絡協議会」等を定期的に開催し、連絡体制の確認、重要水防箇所の合同巡視、水防訓練などの水防体制の充実を図る。
- ◆ 雨量や水位及び洪水予報等の災害に関する情報を関係自治体、防災関係機関や報道機関と連携を図りつつ、住民に迅速かつわかりやすく情報を提供する。



水防連絡協議会

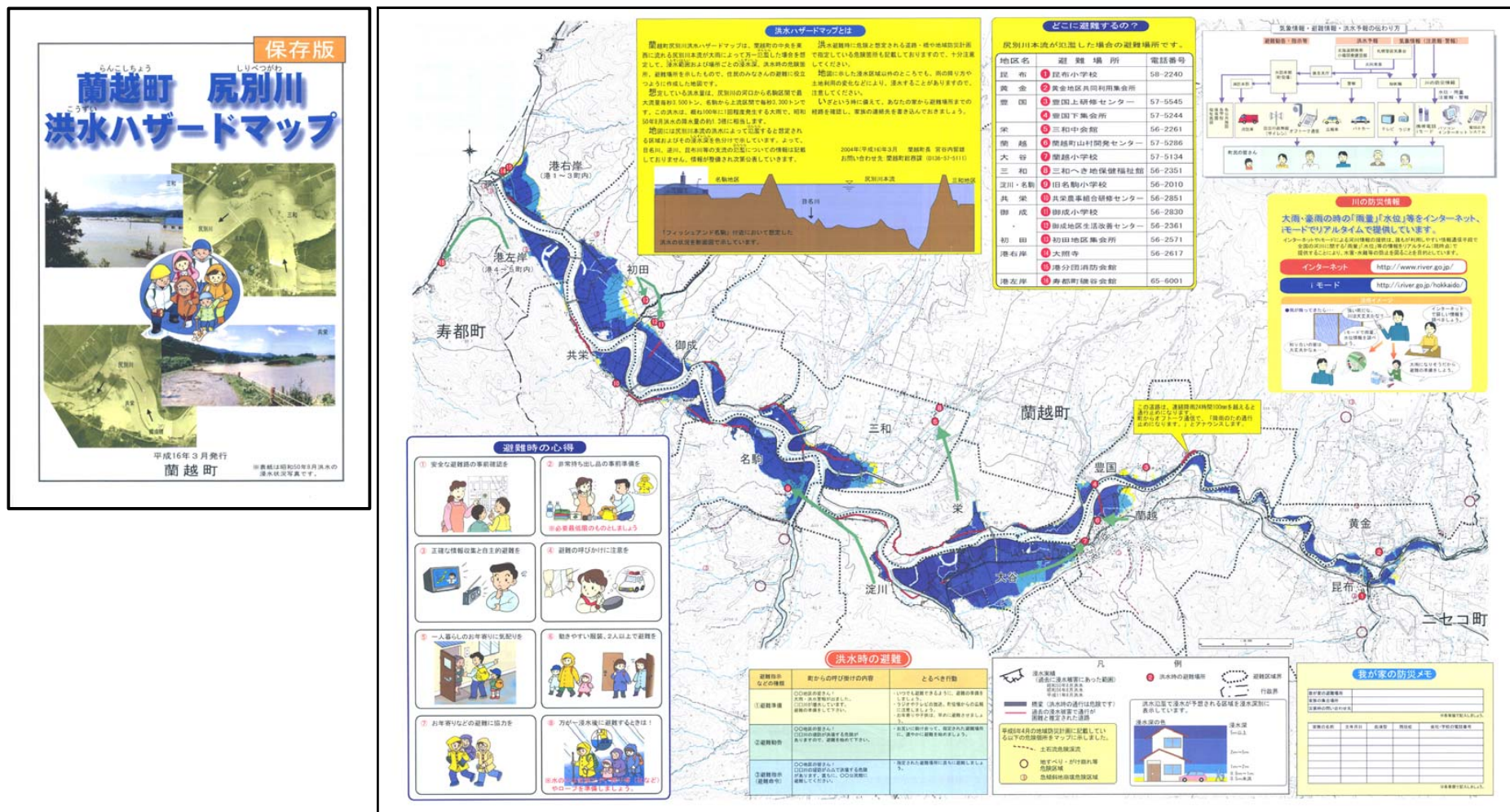


水防工法訓練



洪水予報の伝達

- ◆ 自治体に対し洪水ハザードマップの充実及び活用に関する技術支援、地域防災に関する災害時要援護者の避難体制や啓発活動等へ支援を行い、地域防災力の向上を図る。



洪水ハザードマップの例（蘭越町）

- # 防ごう、河川の水質汚濁・汚染

私たちが住む地域を流れる所沢川は、全国の河川で行われた水質調査の結果、4年連続清流河川の第1位にランクアップされました。この清流が次々に奪われる私たちの力で守っていきましょう。

川を汚す主な原因



【生活排水による汚濁】



【ゴミなどの不法投棄】



【畜産、農業排水による汚濁】



【工場流出の水質悪化】

水質保全啓蒙のパンフレット

WATER POLLUTION 1

何気なく捨てている生活排水が
環境問題を起こっています。



使い済みの油などは、新聞紙など
に包み必ずゴミ箱として出した。油
やソースなどで汚れた皿は拭いて
から洗うなど、家庭から出る水を
汚さないで洗ひましょう。また、洗
いの排水をトイレやシンクに排水ナ
ットなどをかけ、油やゴミを流さな
いようにしましょう。

【生活排水による汚染】



WATER POLLUTION 2

河川周辺への不法投棄は、ゴミの流入による
水質汚濁や汚染の原因になります。



川へゴミが流れたらゴミはゴミ箱
にはいれず川へゴミを投げ捨てないよ
うにしましょう。農業者や粗大ゴミの
不法投棄はしないようにしましょう。

廃引には、流れたものが分解カ
レで腐かえるなど使いし汚染物を
捨てます。年々ゴミは少なくなっ
ていきますが川に流れる人、利用する
人のマナーが大切です。

【ゴミなどの不法投棄】



小を汚す主な原因

流域は農作物や畜産が盛んです。
し農家汚染も考えられます。



【家畜のし尿や農家などによる汚染】



きれいな川も突発的な
水事故で汚染されます



【油類流出の水質事故】

関係先

中興建設株式会社	TEL 03-5657-5333 (11)	東京建設事務所	TEL 03-5642-1201 (11)
東京建設事務所	TEL 03-5657-5333 (11)	東京建設事務所	TEL 03-5642-1211 (11)
東京建設事務所	TEL 03-5657-5333 (11)	東京建設事務所	TEL 03-5642-1211 (11)
東京建設事務所	TEL 03-5657-5333 (11)	東京建設事務所	TEL 03-5642-1211 (11)
東京建設事務所	TEL 03-5657-5333 (11)	東京建設事務所	TEL 03-5642-1211 (11)
東京建設事務所	TEL 03-5657-5333 (11)	東京建設事務所	TEL 03-5642-1211 (11)
東京建設事務所	TEL 03-5657-5333 (11)	東京建設事務所	TEL 03-5642-1211 (11)
東京建設事務所	TEL 03-5657-5333 (11)	東京建設事務所	TEL 03-5642-1211 (11)
東京建設事務所	TEL 03-5657-5333 (11)	東京建設事務所	TEL 03-5642-1211 (11)
東京建設事務所	TEL 03-5657-5333 (11)	東京建設事務所	TEL 03-5642-1211 (11)

WATER POLLUTION 3

WATER POLLUTION 4

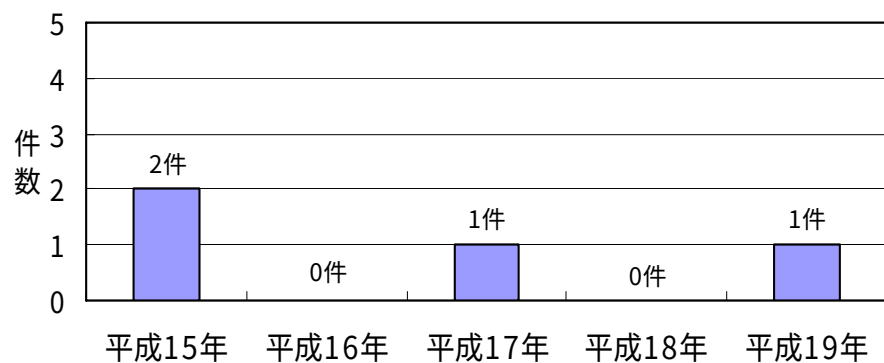
[illegible]

屍別川の水質速報値の公表

水質事故及び渇水への対応

- ◆ 「北海道一級河川環境保全連絡協議会」等を開催し連絡体制を強化するとともに、定期的に水質事故訓練等を行うことにより、迅速な対応ができる体制の充実を図る。
- ◆ 水質事故防止には、地域住民の意識の向上が不可欠であり、関係機関が連携して水質事故防止に向けた取り組みを行う。
- ◆ 渇水による取水制限が必要となった場合には、「水利用協議会」や「渇水調整協議会」等を通じ、渇水調整の円滑化を図るとともに、地域住民に対して水の再利用や節水等を呼びかけるなど、流域全体での取り組みに努める。

発生年	平成15年		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
発生日	9月26日	10月17日	無し	2月10日	無し	10月29日
発生場所	指定区間	指定区間	無し	指定区間	無し	指定区間



近年5ヵ年間の水質事故発生件数（尻別川）



水質事故訓練

- ◆ 河川空間の適正な利用が図られるよう、羊蹄山を背景とした豊かな自然とすぐれた景観を保全し、人々にゆとりと開放感を与える水辺空間として管理していく。
- ◆ 尻別川の河川公園などは、これまでも地域住民の憩いの場や自然体験学習の場として利用されており、引き続きこれらの機能が確保され、安全な利用が図られるよう関係自治体等と連携を図る。また、尻別川ではカヌー利用等による水面利用が盛んであることから、地域住民や関係機関等と連携し、水面利用のルール作りや環境学習の推進に努める。



川の自然観察会



講義

川の初級指導者養成講座



現地実習

地域と一体となった取り組み

- ◆ 地域住民と協力して河川管理を行うため、地域の人々へ様々な河川に関する情報を発信する。また、地域の取り組みと連携した河川整備等を行うことにより、住民参加型の河川管理の構築に努める。
- ◆ 地域住民、地域団体、関係機関及び河川管理者が、各々の役割を認識し、有機的に連携・協働して効果的かつきめ細かな河川管理を実施できるよう努める。



インターネットによる河川に関する情報発信



清掃活動

地域と一体となった取り組み

- ◆ 少子高齢化が進み、旧来型の地域コミュニティが衰退している状況を踏まえ、これら多様な主体の参加による連携・協働の取り組みを通して、河川管理にとどまらず防災、教育、社会福祉等様々な面で地域が共に助け合う地域コミュニティの再構築に寄与するよう努める。



住民参加型の河川環境の保全への取組事例（雪中植林）



地域協働の事例（フットパス）